

研修名・内容及び習得技術等	予定人数	開催期日・内容	申込期限	経費(予定)	申込区分
農業担い手農耕用免許取得研修 ●農業用トラクターの道路走行に必要な農耕車限定の運転免許(大特・けん引)の取得と、農業機械に関する安全知識が習得できます。 受講対象者 ●県内に住所を有する以下の(1)及び(2)の要件を満たす方 (1)所有免許要件 ・大特希望者は普通免許(AT限定可)を取得している方 ・けん引希望者は大特免許(農耕車限定含む)を取得している方(カタピラ限定は不可) (2)担い手要件(下記のア～クのいずれかに該当する方) ア 就農実践技術コース(農業大学校主催研修)受講者 イ 就農準備資金・経営開始資金(左記に準ずる補正事業)、農業次世代人材投資事業経営開始型を受給している方 ウ 認定新規就農者 エ 農業機械士 オ 認定農業者 カ 認定農業者または認定新規就農者と家族経営協定を結んでいる方 キ 認定農業者または認定新規就農者と雇用契約を結んでいる方 ク 地域おこし協力隊(農業を主な業務とする者) ●注意点 ・申込書のほか、要件が確認できる資料の添付が必要です。要件が確認できない場合は受講できません。 ・先着順ではありません。申込多数の場合は、選考基準に基づき決定します。 ・同一法人等で複数の受講希望者がいる場合は、免許種別に関わらず単年度で申し込めるのは原則3人までとします。また、同一受講回で複数の申し込みはできません。 ・視力に不安のある方は、受講前に視力を矯正してください。 大 特:一眼0.3以上、両眼0.7以上 けん引:一眼0.5以上、両眼0.8以上、深視力誤差2cm以内	第1回 12人	・大特:4月14日(火)～4月17日(金) ・けん引:4月13日(月)～4月17日(金)	令和8年 3月4日(水) 3月18日(水) 必着	受講料 14,000円 運転免許 受験手数料 2,800円 運転免許 交付手数料 1,550～ 2,450円	A
	第2回 15人	・大特:7月14日(火)～7月17日(金) ・けん引:7月13日(月)～7月17日(金)			
	第3回 15人	・大特:10月6日(火)～10月9日(金) ・けん引:10月5日(月)～10月9日(金)	令和8年 7月6日(月) 8月7日(金) 必着		
	第4回 15人	・大特:10月20日(火)～10月23日(金) ・けん引:10月19日(月)～10月23日(金)			
	第5回 15人	・大特:10月27日(火)～10月30日(金) ・けん引:10月26日(月)～10月30日(金)			
	第6回 15人	・大特:11月10日(火)～11月13日(金) ・けん引:11月9日(月)～11月13日(金)			
	第7回 15人	・大特:11月17日(火)～11月20日(金) ・けん引:11月16日(月)～11月20日(金)			



◆農業経営のステップアップ支援に関する研修

研修名・内容及び習得技術等	受講対象者	予定人数	開催期日・内容	申込期限	経費(予定)	申込区分
経営管理・複式簿記基礎研修 ●経営管理の基礎を学び、経営のスタートや持続発展ができるように、複式簿記の仕組みや会計の基礎知識が学べます。	新規就農者等で農業簿記の基礎知識を習得し、経営改善を志向する農業者	30人程度(対面定員20人) ※対面を基本にオンライン併用	■期日:12月2日(水)9:30～16:30 12月3日(木)9:00～16:30 ■内容 ・複式簿記の基礎、取引と仕訳 ・決算および決算書分析	令和8年 10月7日(水) 11月11日(水)	無料	C
農産加工基礎研修 ●基本的な農産加工に関する講義と実習により、農産加工の基礎を学びます。	農産加工部門の取組みを始めた農業者(法人含む)	概ね10人 ※対面を基本に、第2・4・7回はオンライン併用	■第1回:5月28日(木)13:30～16:00 【講義】農産加工の基礎知識①② 加工部門導入、食品衛生 ■第2回:6月16日(火)10:00～15:30 【講義】食品関連の法令、6次産業化 取組事例・支援制度 ■第3回:7月2日(木)10:00～16:00 【視察】新潟市食品加工支援センター 農業者の加工事例 ■第4回:8月6日(木)13:30～16:30 【講義】商品開発の手法 ■第5回:10月15日(木)9:30～16:00 【講義】農産加工の基礎知識③ 【実習】保存(びんづめ等) ■第6回:11月5日(木)9:30～16:00 【実習】米・大豆等を使用した加工 ■第7回:12月上旬13:30～16:00 【講義】農産加工の基礎知識④(販売)	令和8年 4月8日(水) 5月7日(木)	無料 ただし、実習材料費及び視察経費は実費	C



◆農業機械の技術習得支援及び農作業事故防止の啓発に関する研修

研修名・内容及び習得技術等	受講対象者	予定人数	開催期日・内容		申込期限	経費 (予定)	申込 区分
初心者農業機械 メンテナンス研修 ●乗用田植機とトラクターのメンテナ ンス方法について学びます。	新規就農者 農業法人等就業者 就農実践技術コー ス受講者	8人 (先着順)	■期日:6月10日(水) 9:30~16:30 ■内容: ・農作業安全について ・乗用田植機、トラクターの基本的な点検 整備(エンジンオイル交換、グリスアップ等)		令和8年 4月22日 (水) ? 5月20日 (水)	無料	C
初心者農業機械 操作研修 ●農作業安全とトラクターの基本的な 操作方法について学びます。	新規就農者 農業法人等就業者 就農実践技術コー ス受講者	12人 (先着順)	■期日:6月11日(木) 9:30~16:30 (予備日:令和8年7月22日(水)) ■内容: ・農作業安全について ・トラクターの作業点検と基本的な操作方 法(ロータリー耕)		令和8年 4月22日 (水) ? 5月20日 (水)	無料	C
農作業事故ゼロ 推進研修 (出張研修) ●農作業事故防止や農作業安全対策 について学びます。	農業者 関係機関・団体の農 作業安全担当者	1研修 5人以上 年間10回 程度	農業者及び関係団体の希望により調整した 期日(開催期日は事前調整)		開催予定 期日の2週 間前まで	無料	B
農作業安全リーダー 研修 (県農林水産部農産園芸課主催) ●地域や現場での農作業安全活動に 役立てられる手法等が学びます。	農業法人 農業機械士 市町村担当者 JA等担当者 県担当者 等 (予定)	本研修については、市町村や関係機関・団体を通じて別途通知されます。 (前年度は、令和8年1月29日に、対面で開催)				無料	—
農作業安全に関する 指導者向け研修 (農林水産省主催) ●地域における農作業安全の推進役 として、農作業安全に関する研修の 講師や、啓発活動を担うための知 識が学びます。	市町村担当者 JA等の農業団体 担当者 県担当者 (予定)	本研修については、市町村や関係機関・団体へ別途案内されます。 (年7回程度、オンライン開催予定)				無料	—
農業用ドローン オペレーター技能 資格取得講習 (民間企業主催) ●農業大学校を会場にドローンオペ レーター技能資格が取得できます。 受講を希望される方は、右記の教 習機関に直接お申し込みください。	農業者、農業法人等 ※の教習は本校学 生の受講を優先しま す。	教習機関	開催月日	教習可能 人数	機種		
		新潟スカイテック株式会社 住所:新潟市市島潟 203-1 電話:0254-26-3881 FAX: 0254-26-0481	6月23~26日 8月4~7日* 9月29~ 10月2日 10月20~23日 全4回	1開催あたり 2~5人	DJI Tシリーズ		
		株式会社バイタルグリーン 住所:新潟市西区曾和字沢田 365 番1 電話:025-211-8520 FAX: 025-211-8565	7月28~31日*	1~4人	XAG P100、P60		
		株式会社新潟クボタCS技術部 住所:新潟市秋葉区川口乙 580-17 電話:0250-25-3100 FAX: 0250-25-3105	10月中旬 ~12月上旬 開催日は要相談	1開催あたり 6~8人	T10K/T25K		
		ヤンマーアグリジャパン関東信越支社 アグリサポート部 住所:新潟市西区山田 222 番地 電話:025-231-7736 FAX: 025-231-7775	7月下旬 9月下旬	1開催あたり 3人以上	DJI T10/T25/ T25P/T70P		

◆農業体験等を通じた農業理解促進に関する研修

研修名・内容及び習得技術等	受講対象者	予定人数	開催期日・内容	申込期限	経費(予定)	申込区分
アグリキャンパスツアー ●農業大学校における先進的農業技術や県農業の現状と課題などの講話をはじめ、稲作・野菜・果樹・花き・畜産等の農業体験ができます。	県内高校生	概ね8校 約400人 (高等学校単位で受入れ、5人程度から対応します)	令和8年5月～令和9年2月 高等学校が計画する期日 (開催期日は事前調整)	開催予定期日の40日前まで	要相談	B
「大地の子」農業体験研修 ●農作物の管理作業や、牛のエサあげ・乳搾り等の体験、農産加工体験、なし等の収穫体験ができます。	【畜産】 幼児、小・中学生 【畜産以外】 小学生高学年、中学生	1研修 概ね 5人以上 40人未満	令和8年5月～12月 受講希望団体が計画する期日 (開催期日は事前調整) 	開催予定期日の40日前まで	○牛のエサあげ、乳搾り体験 1人100円(引率者除く) ○農産加工体験 材料持込み ○なし、柿収穫体験 収穫物買い取り なし150円/個 柿 100円/個	B
農業体験支援研修 ●農作物の管理作業や牛の飼育作業の体験ができます。また新潟県農業の概要について学べます。	県内の大学、専門学校の学生、食関連の職業に従事する方	1研修 5人以上 35人程度	令和8年5月～10月 受講希望組織が計画する期日 (開催期日は事前調整)	開催予定期日の40日前まで	原則無料 一部研修は実費負担	B

区分	申込方法
A	各研修の所定の書類又は申込書に記入し、農業大学校研修センターへ郵送又は持参でお申し込みください。(所定の書類・申込書は農業大学校研修センターのホームページからダウンロードできます。)
B	事前に日程調整の上、各研修の所定の申込書を農業大学校研修センターのホームページから入手してお申し込みください。
C	農業大学校研修センターのホームページから電子申請でお申し込みください。(各研修の所定の申込書によりメール、FAX又は持参でもお申し込みできます。)
D	最寄りの地域振興局農林水産(農業)振興部経由でお申し込みください。

【研修受講に当たってのお願い】

- ① 研修の詳細については、農業大学校のホームページに掲載されています。なお、研修の内容・日程については予告なく変更することがありますので、農業大学校研修センターのホームページをご確認ください。
- ② 研修参加申し込み後に急遽欠席される場合は、必ず担当者に連絡してください。

新潟県農業大学校 研修センター

〒953-0041 新潟県新潟市西蒲区巻甲12021
 TEL:0256-72-8547 FAX:0256-73-3001
 E-mail:ngt068260@pref.niigata.lg.jp
<https://www.pref.niigata.lg.jp/nogyodai/1343599229862.html>

